

京都府の地震活動

令和元年（2019年）7月

第 32 卷 第 7 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】異常震域	・・・ 5

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

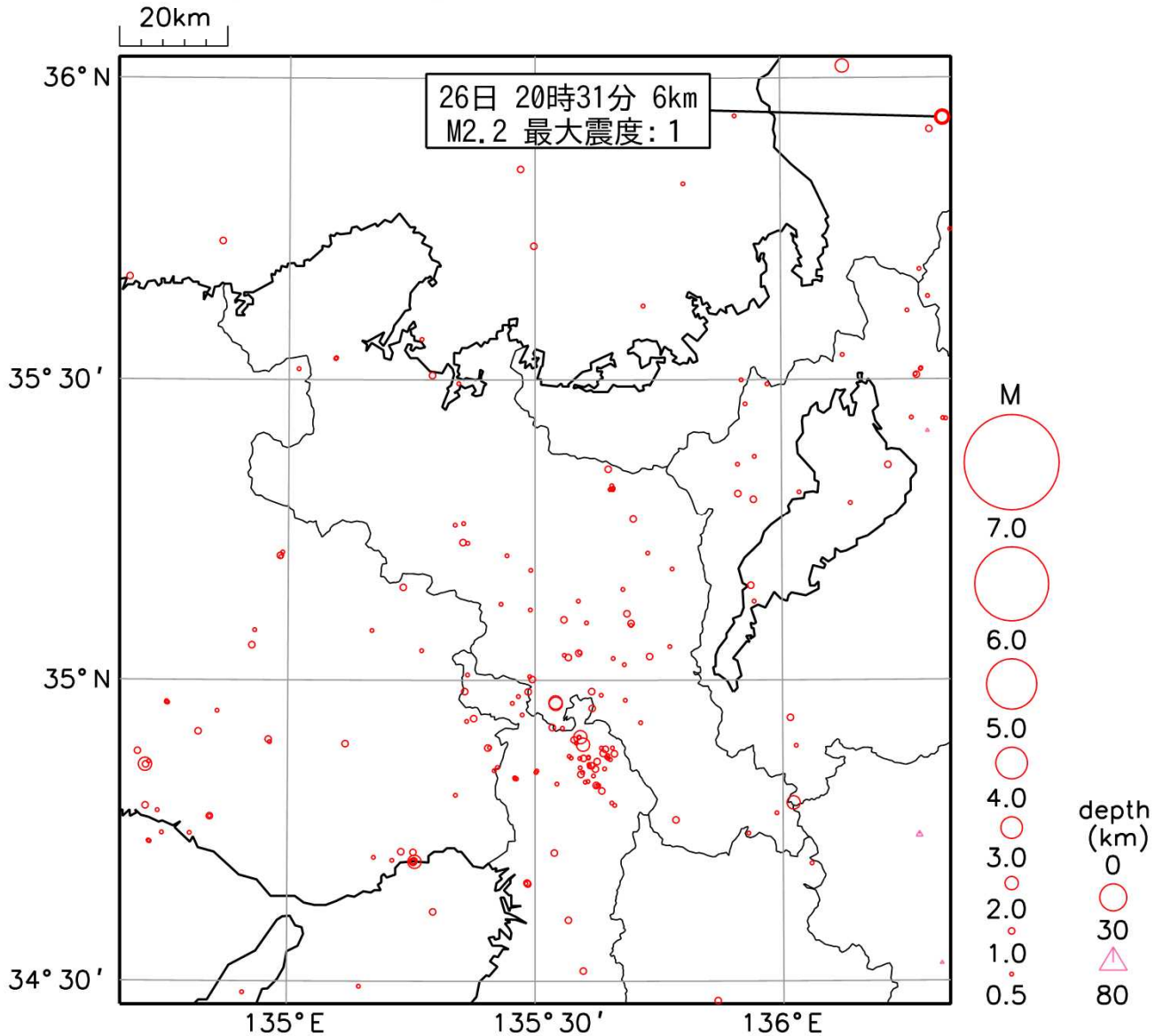
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2019 07 01 00 : 00 - 2019 07 31 24 : 00

総数 : 202



- ・震源の深さを表す「○、△」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、深さ、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。

概況

7月中、震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は9回、震度1以上の揺れを観測した地震は1回発生しました（6月はそれぞれ12回、6回）。

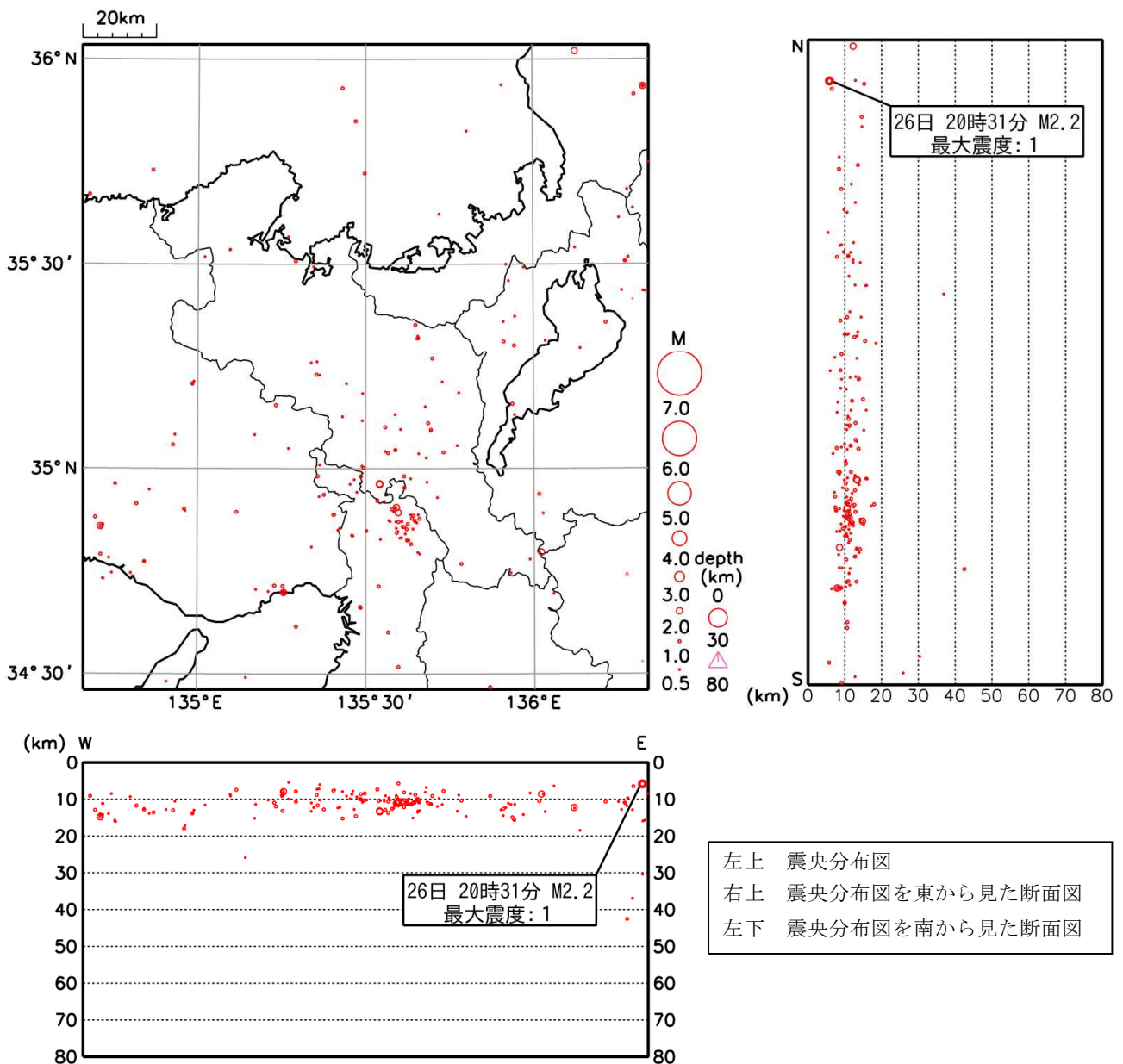
京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は1回ありました（6月は3回）。

28日03時31分 三重県南東沖の地震（図の領域外：M6.6、深さ393km）により、京都府向日市、八幡市、宇治田原町で震度1を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2019 07 01 00:00 - 2019 07 31 24:00

総数：202



深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表（2019年7月）

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ	規模
	月日	時分		(度分)	(度分)	(km)	(M)
①	7月28日	03:31	三重県南東沖	33° 09.6'	137° 23.8'	393	6.6

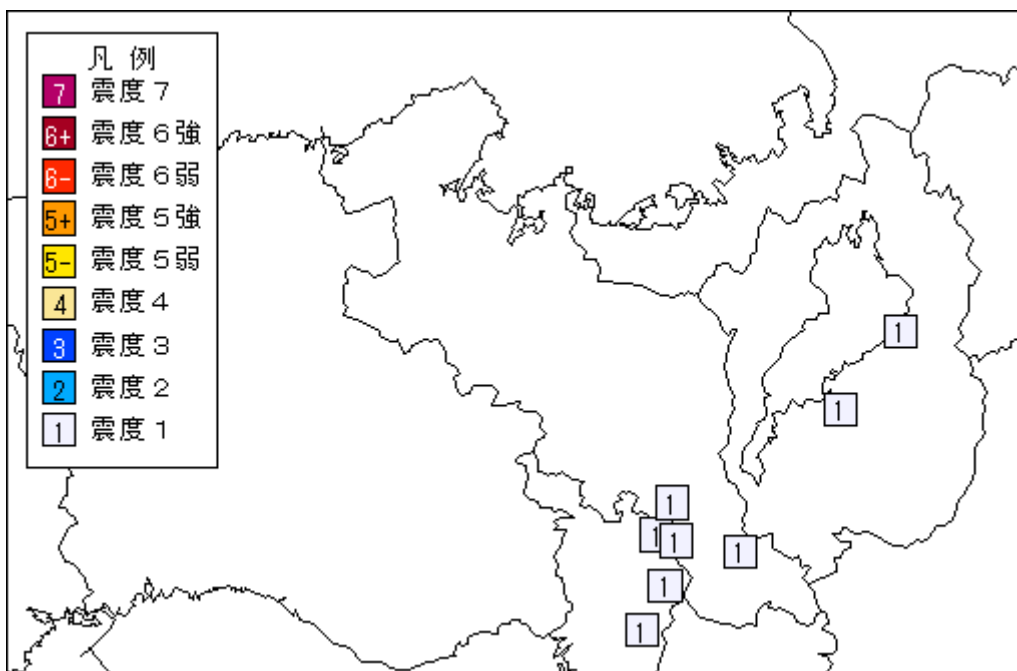
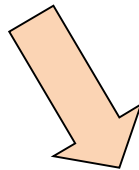
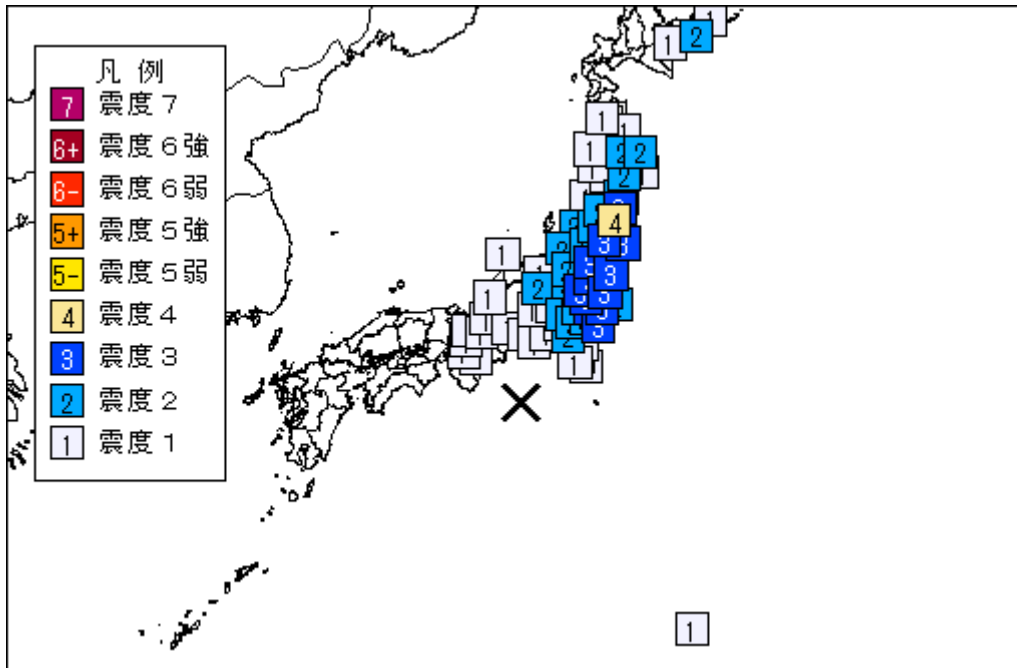
地域	震度観測点	所属	各地の震度
			①
北 部	福知山市内記	気	-
	福知山市長田野町	防	-
	福知山市三和町千束	自	-
	福知山市夜久野町額田	自	-
	福知山市大江町河守	自	-
	舞鶴市下福井	気	-
	舞鶴市浜	防	-
	舞鶴市北吸	自	-
	綾部市若竹町	自	-
	宮津市柳縄手	自	-
	伊根町亀島	防	-
	伊根町日出	自	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	-
	京丹後市峰山町	自	-
	京丹後市大宮町	自	-
	京丹後市網野町	自	-
	京丹後市丹後町	自	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-
	京丹後市久美浜市民局	自	-
南 部	与謝野町加悦	自	-
	与謝野町岩滝	自	-
	与謝野町四辻	自	-
	京都北区紫竹	自	-
	京都北区中川	自	-
	京都上京区藪ノ内町	自	-
	京都上京区今出川御前	自	-
	京都左京区広河原能見町	防	-
	京都左京区田中	自	-
	京都左京区鞍馬	自	-
	京都左京区花脊	自	-
	京都左京区岩倉	自	-
	京都左京区大原	自	-
	京都中京区西ノ京	気	-
	京都中京区河原町御池	自	-
	京都東山区清水	自	-
	京都下京区河原町塩小路	自	-
	京都南区西九条	自	-
	京都右京区京北周山町	自	-
	京都右京区太秦	自	-

地域	震度観測点	所属	各地の震度
			①
南 部	京都右京区嵯峨	自	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-
	京都伏見区竹田	自	-
	京都伏見区醍醐	自	-
	京都伏見区向島	自	-
	京都伏見区淀	自	-
	京都伏見区久我	自	-
	京都山科区安朱川向町	防	-
	京都山科区西野	自	-
	京都西京区檜原	自	-
	京都西京区大枝	自	-
	宇治市宇治琵琶	気	-
	宇治市折居台	防	-
	亀岡市安町	気	-
	亀岡市余部町	防	-
	城陽市寺田	自	-
	向日市寺戸町	自	1
	長岡京市開田	自	-
	八幡市八幡	自	1
	大山崎町円明寺	自	-
	久御山町田井	自	-
	京田辺市田辺	自	-
	井手町井手	自	-
	宇治田原町荒木	自	1
	笠置町笠置	自	-
	和束町釜塚	自	-
	精華町南稲八妻	自	-
	南山城村北大河原	自	-
	京丹波町坂原	気	-
	京丹波町蒲生	自	-
	京丹波町橋爪	自	-
	京丹波町本庄	自	-
	南丹市美山町島	自	-
南丹市園部町小桜町	自	-	
南丹市八木町八木	自	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	
木津川市山城町上狛	自	-	
木津川市加茂町里	自	-	
木津川市木津	自	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表○数字は、7月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

① 京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図
 (上図：地域別、下図：観測点別)



7月28日 03時31分 三重県南東沖の地震 (M6.6、深さ393km)

(図中の×印は震央位置)

【地震一口メモ】

異常震域

2019年7月28日の三重県南東沖の地震（M6.6、深さ393km）では、北海道から近畿地方にかけて震度4～1を観測しました。通常、震度分布は震源の真上（震央）を中心とした同心円状に広がるのですが、図1のとおり、この地震では震央から離れた東日本の太平洋側の地域の方が大きい震度を観測しました。

今回のように震源が非常に深い地震の場合、震央ではほとんど揺れないのに、震源から遠く離れた太平洋側の地域で大きな揺れを観測することがあります。この現象は、「異常震域」と呼ばれています。原因は、地球内部を構成する岩盤の性質の違いによるものです。

図2に「異常震域」の概念図を示します。日本周辺では、海洋プレート（太平洋プレートやフィリピン海プレート）が、陸のプレート（北米プレートやユーラシアプレート）の方へ1年あたり数cmの速度で動いており、陸のプレートの下に地下深くまで沈み込んでいます。

通常、地震波は震源から遠くなるほど減衰しますが、海洋プレートは地震波をあまり減衰させずに伝える性質を持っています。このため、沈み込んだ海洋プレートのかなり深い場所で地震が発生すると（これを深発地震といいます）、地震波は真上にはあまり伝わらないにもかかわらず、海洋プレート中をあまり減衰せずに伝わり、太平洋側の地域に揺れを伝えます。その結果、震央周辺の地表での震度よりも、太平洋側の地域での震度が大きくなります。

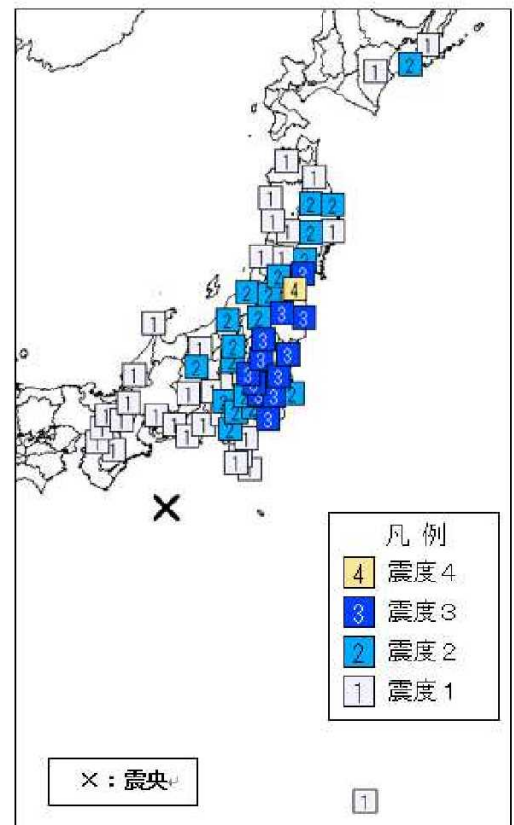


図1 三重県南東沖の地震の地域震度分布図

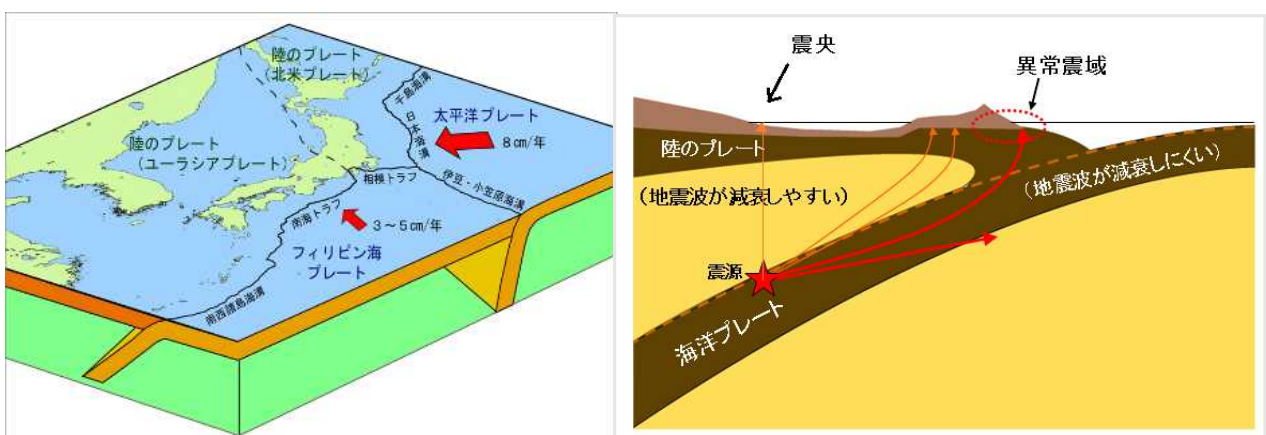


図2 (左) 日本付近のプレートの模式図 と (右) 異常震域の概念図